

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 豊田馨大
論文審査委員	主査 都留寛治 印
	副査 松浦尚志 印
	副査 都築尊 印
論文題目	Effects of ytterbium laser surface treatment on the bonding of two resin cements to zirconia
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>学位申請者は本論文にて、イッテルビウムレーザーによるジルコニアの表面処理がレジンセメントとの接着強さに及ぼす影響を検討している。ジルコニアの表面処理は無処理群、ブラスト処理群、レーザー処理群の3群とし、MMA系とコンポジット系の2種類のレジンセメントに対する剪断接着強さを評価している。さらに、サーマルサイクリングが剪断接着強さに及ぼす影響も併せて調査している。</p> <p>MMA系レジンセメントを用いた場合の剪断接着強さは無処理群とブラスト処理群間に有意差は認められなかったが、無処理群とレーザー処理群間には有意差が認められている。加えて、サーマルサイクリングにより表面処理群の剪断接着強さが著しく向上することが示されている。一方、コンポジット系レジンセメント用いた場合はサーマルサイクリングにより剪断接着強さが低下するものの、レーザー処理群は未処理群に比べ、有意に剪断接着強さが向上することが示されている。レーザーで形成した凹凸による機械的嵌合と接着面積の増大がレジンセメントとの接着強さの向上に有効と結論づけている。</p> <p>公開予備審査会では研究背景、目的、方法、結果および考察に関する明確な説明がなされ、適切な質疑応答がなされた。</p> <p>以上より、本論文はレジンセメントを用いたジルコニアの接着手法に関して、歯科臨床に資する研究成果が報告されているものであり、学位論文に値すると判断した。</p>	